令和5年産米に係る共同計算結果について

1. 令和5年産米の取り扱い概況

令和5年産水稻の作柄は、田植期以降おおむね天候に恵まれたことから、全もみ数が「平年並み」登熟が「やや良」となり、10a当たり収量は535kg（作況指数103）で、収穫量は109,700トンとなった。

このうち、全農広島県本部が県内JAから売渡委託を受けた県域共同計算対象米穀は24,804.42トン（うるち米：20,230.38トン、酒造好適米：2,915.34トン、もち米：144.36トン、加工用米：1,514.34トン）となり、全量販売を完了した。

これら売渡委託を受けた米穀については、主食用途を中心に酒造用途、米菓用途に向けて全量販売を完了した。

単位：トン

	うるち米	酒造好適米	もち米	加工用米	計
主食用途	19,515.45	0.00	131.34	641.31	20,288.10
酒造用途	714.93	2,915.34	0.00	791.37	4,421.64
米菓（粉）用	0.00	0.00	13.02	81.66	94.68
計	20,230.38	2,915.34	144.36	1,514.34	24,804.42

2. 令和5年産米の集荷・販売実績

(1) 集荷実績 (JA別・銘柄別)

【主要5銘柄を抜粋】

単位：トン

JA名	コシヒカリ	あきさかり	あきろまん	恋の予感	ヒノヒカリ
広島市	235.17	46.53	40.23	0.15	132.93
ひろしま (佐伯中央)	16.44	7.17	33.09		8.82
ひろしま (安芸)	1.50	10.20	0.54		136.32
ひろしま (呉)	3.42	6.24			9.93
ひろしま (広島中央)	1,276.29	1,253.52	960.87	727.50	202.08
ひろしま (芸南)	3.78	1.02			27.90
ひろしま (三原)	414.60	121.74	54.81	320.88	52.59
ひろしま (広島北部)	1,439.31	482.88	436.68		
ひろしま (三次)	1,656.06	204.42	279.36	8.85	11.37
ひろしま (庄原)	2,728.41	2,088.48	3.69		0.39
広島ゆたか	10.68				
尾道市	761.49	547.68	9.24	13.77	24.03
福山市	502.11	11.31		103.56	75.66
総計	9,049.26	4,781.19	1,818.51	1,174.71	682.02

(2) 販売実績 (銘柄別・販売数量・販売金額)

【主要5銘柄を抜粋】

単位：トン、円、税込み

銘柄名	販売数量	販売金額	備考
コシヒカリ	9,049.26	2,144,357,631	
あきさかり	4,781.19	1,043,521,140	
あきろまん	1,818.51	396,670,634	
恋の予感	1,174.71	254,134,492	
ヒノヒカリ	682.02	146,327,388	

主食うるち米	19,462.32	4,400,710,617	
酒造用一般米	768.06	177,918,730	
総計 (うるち米)	20,230.38	4,578,629,347	

3. 共同計算における収入及び支出項目（うるち米）

(税込み)

		単位	金額		備考1		
			総額	30kg			
販売数量		トン	20,230.38	674,346			
販売平均単価		円/袋	0	6,790			
費目	収入	販売代金	円	4,578,629,347	6,790		
		受入金利	〃	1,787	0		
		国・行政等からの助成	〃	1,000,000	1	米穀周年供給・需要拡大支援事業補助金	
		その他	〃	21,631,036	32	米穀周年供給・需要拡大支援事業 積立金取崩額 米需給調整・需要拡大基金の取崩額	
	合計 A		〃	4,601,262,170	6,823		
	支出	概算金償還	〃	3,945,685,930	5,851		
		流通・保管等に係る経費	〃	144,951,502	215		
		概算金金利等	〃	14,134,817	21	概算金金利 年利0.8%	
		保管料・入出庫料等	〃	110,667,467	164	J A・営業倉庫への保管料・入出庫料等	
		保険料・補償料	〃	0	0		
		運賃	〃	408,672	1	県外販売運賃	
		安全安心等検査費用	〃	1,325,805	2	残留農薬分析・DNA等検査	
		集約保管等経費	〃	18,414,741	27	集約運賃	
		その他 流通・保管等に係る経費	〃	0	0		
		事故処理経費	〃	0	0		
		全農手数料	〃	70,466,835	104		
		生産・集荷・販売等に係る経費	〃	28,447,239	42		
		J Aへの支出経費	〃	0	0		
		広告宣伝費等経費	〃	22,604,075	34		
		その他 生産・集荷・販売等に係る経費	〃	5,843,164	9	学校給食会助成	
		需給調整経費	〃	10,630,976	16	米穀周年供給・需要拡大支援事業積立金財源振替	
		県産米推進協議会等経費	〃	1,347,888	2	穀物改良協会分担金	
		監査委員会費用	〃	331,836	0	監査法人費用	
		その他	〃	0	0		
		合計 B		〃	4,201,862,206	6,231	
		収入－支出 C = A - B (収入支出見込はA+B)		〃	399,399,964	592	
		仮精算 (追加払いを含む) D		〃	221,339,694	328	
共計事業預り金残高 E = C - D		〃	178,060,270	264			
本精算 F		〃	165,427,320	245			
概算金残高		〃	12,632,950	19			

3. 共同計算における収入及び支出項目（もち米）

(税込み)

		単位	金額		備考1	
			総額	30kg		
販売数量		トン	144.36	4,812		
販売平均単価		円/袋		6,644		
費目	収入	販売代金	円	31,970,705	6,644	
		受入金利	〃	3	0	
		国・行政等からの助成	〃	0	0	
		その他	〃	0	0	
		合計 A	〃	31,970,708	6,644	
	支出	概算金償還	〃	27,791,750	5,776	
		流通・保管等に係る経費	〃	1,461,450	304	
		概算金金利等	〃	100,863	21	概算金金利 年利0.8%
		保管料・入出庫料等	〃	900,908	187	J A・営業倉庫への保管料・入出庫料等
		保険料・補償料	〃	0	0	
		運賃	〃	17,182	4	県外販売運賃
		安全安心等検査費用	〃	38,500	8	残留農薬分析・DNA等検査
		集約保管等経費	〃	403,997	84	集約運賃
		その他 流通・保管等に係る経費	〃	0	0	
		事故処理経費	〃	0	0	
		全農手数料	〃	502,578	104	
		生産・集荷・販売等に係る経費	〃	0	0	
		J Aへの支出経費	〃	0	0	
		広告宣伝費等経費	〃	0	0	
		その他 生産・集荷・販売等に係る経費	〃	0	0	
		需給調整経費	〃	0	0	
		県産米推進協議会等経費	〃	9,614	2	穀物改良協会分担金
		監査委員会費用	〃	2,368	0	監査法人費用
		その他	〃	0	0	
		合計 B	〃	29,767,760	6,186	
		収入－支出 C = A - B (収入支出見込はA+B)		〃	2,202,948	458
	仮精算 (追加払いを含む) D		〃	1,409,413	293	
共計事業預り金残高 E = C - D		〃	793,535	165		
本精算 F		〃	721,800	150		
概算金残高		〃	71,735	15		

3. 共同計算における収入及び支出項目（加工用米）

（税込み）

		単位	金額		備考1	
			総額	30kg		
販売数量		トン	1,514.34	50,478		
販売平均単価		円/袋	0	5,559		
費目	収入	販売代金	円	280,587,523	5,559	
		受入金利	〃	93	0	
		国・行政等からの助成	〃	0	0	
		その他	〃	0	0	
		合計 A	〃	280,587,616	5,559	
	支出	概算金償還	〃	236,307,700	4,681	
		流通・保管等に係る経費	〃	13,835,093	274	
		概算金金利等	〃	924,177	18	概算金金利 年利0.8%
		保管料・入出庫料等	〃	10,144,328	201	J A・営業倉庫への保管料・入出庫料等
		保険料・補償料	〃	0	0	
		運賃	〃	1,446,588	29	県外販売運賃
		安全安心等検査費用	〃	0	0	
		集約保管等経費	〃	1,320,000	26	集約運賃
		その他 流通・保管等に係る経費	〃	0	0	
		事故処理経費	〃	0	0	
		全農手数料	〃	4,000,807	79	
		生産・集荷・販売等に係る経費	〃	0	0	
		J Aへの支出経費	〃	0	0	
		広告宣伝費等経費	〃	0	0	
		その他 生産・集荷・販売等に係る経費	〃	0	0	
		需給調整経費	〃	0	0	
		県産米推進協議会等経費	〃	0	0	
		監査委員会費用	〃	24,839	0	監査法人費用
		その他	〃	0	0	
		合計 B	〃	254,168,439	5,035	
		収入－支出 C = A - B（収入支出見込はA+B）		〃	26,419,177	523
	仮精算（追加払いを含む） D		〃	14,616,588	290	
共計事業預り金残高 E = C - D		〃	11,802,589	234		
本精算 F		〃	11,105,160	220		
概算金残高		〃	697,429	14		

(単位:円/30kg、税込み)

4. 共同計算に係る収支決算 (銘柄別30kg当たり収支決算)

うるち米		主食うるち米	酒造用一般米	うるち米合計 (加重平均)
区分	JA米・一般米	両方	両方	両方
	包装	全種類	全種類	全種類
	地域	全地域	全地域	全地域
販売数量 (トン)		19,462.32	768.06	20,230.38
収入	販売代金	6,783	6,949	6,790
	受入金利	0	0	0
	国・行政等からの助成	1	1	1
	その他	32	32	32
	小計 (A)	6,816	6,982	6,823
支出 (販売 経費)	概算金償還	5,854	5,775	5,851
	流通・保管等に係る経費	215	215	215
	概算金金利等	21	21	21
	保管料・入出庫料等	164	164	164
	保険料・補償料	0	0	0
	運賃	1	1	1
	安全・安心等検査費用	2	2	2
	集約保管等経費	27	27	27
	その他 流通 ・保管等に係る経費	0	0	0
	事故処理経費	0	0	0
	全農手数料	104	104	104
	生産・集荷・販売等に係る経費	42	42	42
	JAへの支出経費	0	0	0
	広告宣伝費等経費	34	34	34
	その他 生産・集荷 ・販売等に係る経費	9	9	9
	需給調整経費	16	16	16
	県産米推進協議会等経費	2	2	2
	監査委員会費用	0	0	0
	その他	0	0	0
	小計 (B)	6,235	6,156	6,231
仮精算額 (C)		322	427	328
本精算額 (D)		240	380	245
翌年繰越 (E)		19	19	19

注1) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 上記価格は、全等級の消費税込価格。

5. 共同計算結果の銘柄別概要（うるち米）

（単位：円/30kg、税込み）

銘柄名	主食うるち米	酒造用一般米	うるち米合計 (加重平均)
精算単価 (平均販売単価) ①	6,281	6,434	6,287
消費税 ②	502	515	503
税込金額 ③=①+②	6,783	6,949	6,790
その他収入額 ④	33	33	33
合計収入額 ⑤=③+④	6,816	6,982	6,823

販売経費（控除費用）⑥	379	379	379
J Aへの精算 ⑦	6,418	6,584	6,425
差引 ⑧	19	19	19

注1) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

注2) 上記価格は、全等級の消費税込価格。

6. 共同計算に係る本精算実施日

最終精算実施日	令和6年12月13日
---------	------------

7. 広告宣伝費

(単位：円(税込み)、%)

項目	種類	金額	備考
広告宣伝費	うるち米	22,604,075	
	酒米	797,500	
販売代金に占める 広告宣伝費等の割合	うるち米	0.49%	
	酒米	0.08%	
集荷数量30kg当たりの 広告宣伝費財源	うるち米	34	
	酒米	8	

8. 監査結果報告

広島米共同計算監査委員会設置要領第3条(3)に基づき、共同計算の実施内容について監査を行ったところ、その内容は適正であることを確認した。(令和6年11月14日、広島米共同計算監査委員会)

9. 流通経費について

流通経費の削減に努めてまいりましたが、上限見通し額と比較して、以下の項目が計画を上回る結果となりました。

(もち米)

取引先都合による販売進度の遅れから低温倉庫への集約移動が発生したため、30kg当たり集約保管等経費が33円計画を上回る結果となりました。

また、取引先からの理化学分析(残留農薬等)対応に応じるため30kg当たり安全・安心等検査費用が3円計画を上回る結果となりました。

(加工用米)

主食用途向け販売の販売進度が低調に推移したことに伴い、概算金の償還が遅れたことにより、30kg当たり概算金金利が1円計画を上回る結果となりました。

10. 国の米穀周年供給・需要拡大支援事業の活用結果について

当該事業における「業務用向け等の販売促進等の取組」を活用し、1,270,159円(うるち米:1,000,000円、酒造好適米:270,159円)の補助金交付を受けました。

うるち米については、テレビ媒体により広島県産米の広報活動を実施し、認知度向上に繋がる結果となりました。

また、酒造好適米については、酒造業界誌への酒米広告掲載や産地視察会等の広報活動を実施し、新規取引先の獲得や販路拡大に繋がる結果となりました。